

## カマウ省トイビン村トイビンC小学校第4集落分校建設計画引き渡し式典

2013年11月7日

2013年11月7日(木)、日本政府による対ベトナム草の根・人間の安全保障無償資金協力「カマウ省トイビン村トイビンC小学校第4集落分校建設計画」(2011年度実施)の引き渡し式典が、矢ヶ部義則・在ホーチミン日本国総領事館首席領事、トイビン県共産党執行委員会レ・ミン・コイ書記、カマウ省友好連合会グエン・コン・ミン副会長、トイビン県人民委員会グエン・チャン・キエン副委員長、トイビン県教育訓練局フィン・ヴァン・ドゥック副局長、カマウ省トイビンC小学校第4集落分校チャウ・ヴァン・ティン校長出席の下、本件申請団体であるトイビンC小学校第4集落分校において執り行われました。

トイビンC小学校第4集落分校は、集落内の小学生及び一部の中学生が勉強するための非常に重要な教育機関の一つです。本件は100, 102米ドルの資金協力を通じて、同学校に校舎、トイレ、校門・柵、レンガ舗装、生徒用机・椅子、教員用机・椅子、黒板を整備することで、約370名の小学生および中学生に安全で衛生的な教育環境を提供することを目的として実施されました。

式典において、矢ヶ部首席領事は、「トイビンC小学校第4集落分校の学生に安全で衛生的な教育環境を提供することができ、大変喜ばしく思います。日越外交関係樹立40周年の今年に、本件を通じて整備された校舎及び備品が日本とベトナムとの友好のシンボルとなることを祈念致します。」と述べました。これに対し、ティン校長は、「教員および生徒を代表し、在ホーチミン日本国総領事館、地方行政、そして、子供達が遊んだり学習するための土地を譲って下さったご家族の皆様にご心より感謝申し上げます。大きな効果をもたらすよう、適切な維持管理に努めることを誓います」と感謝の意を表明しました。



本件で整備された新校舎



テープカットの様子



日本が支援したことを示すプレート



本件新校舎の教室